

溶結凝灰岩でなくても 「阿蘇の滝」が！

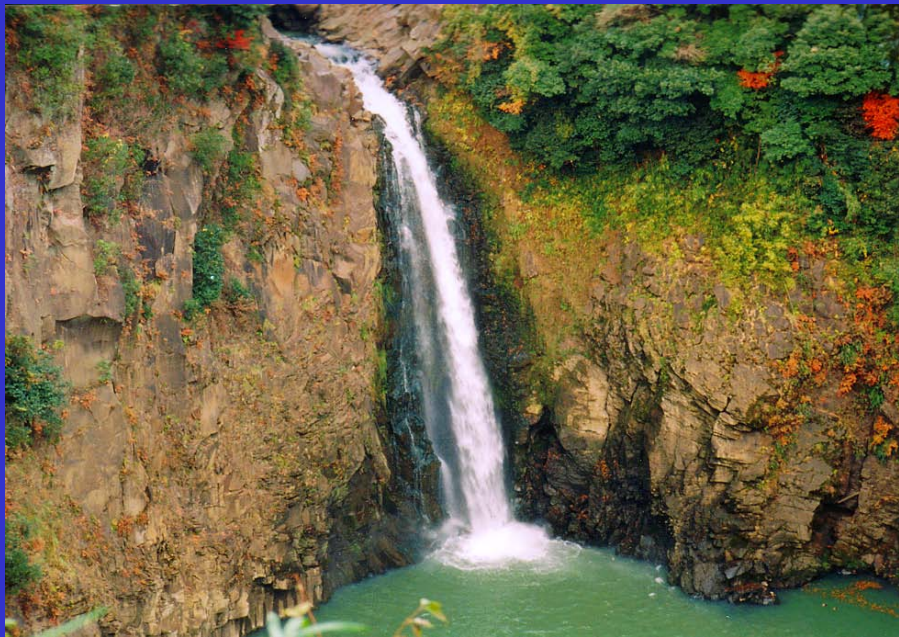
柱状節理も関係ない。
実は平坦地にできる滝の特徴！

鹿目の滝



安山岩の柱状節理、熊本県人吉市

数鹿流ヶ滝



立野溶岩にかかる滝、熊本県南阿蘇村

轟滝



霧島旧期溶岩にかかる滝、宮崎県えびの市

鶉の子滝



火砕流堆積物にかかる滝の形成仮説再考

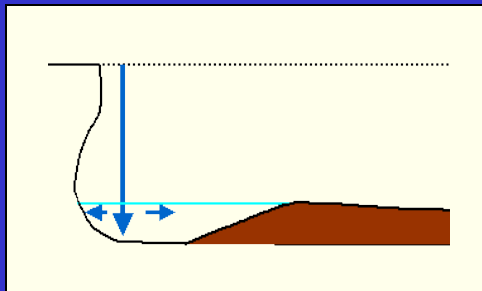


図2. 滝形成の模式図

図1. 林道で見つけた滝のモデル

火砕流堆積物にかかる滝の特徴(再考)

一般的な滝の特徴
溶結凝灰岩の特徴
平坦地にできる滝の特徴

- 滝の上流部は比較的平坦(しばしば田園が広がる)
- 滝の上流部は滑床で、しばしば甌穴が発達する
- 柱状節理が発達する断崖にかかる
- 直瀑が多い
- しばしば滝の下部が上流部にえぐれ、裏見の滝となる
- 滝崖は半円形(蒲鉾を立てたような形)
- 川幅に比べて、極端に広く円形の滝壺を持つ
- 滝の下流部には両岸が切り立った柱状節理の断崖を有する溪谷が出現する
- 懸谷型の滝を多く伴う
- 巨大カルデラ外輪山の周辺部に位置する